NTT東日本



News Release

東日本電信電話株式会社

2021 年 4 月 26 日

特定非営利活動法人 土湯温泉観光協会 NTT 東日本 福島支店

土湯温泉観光協会との『「観光×ICT」による土湯温泉の更なる活性化に向けた 連携協定書』の締結について

特定非営利活動法人 土湯温泉観光協会(会長 加藤貴之、以下土湯温泉観光協会)と東日本電信電話株式会社 福島支店(支店長 山貫昭子、以下 NTT 東日本)は、ICT を活用して土湯温泉の更なる賑わいの創出を図ることを目的とした、『「観光×ICT」による土湯温泉の更なる活性化に向けた連携協定書』を締結いたしました。

1. 背景•目的

福島県福島市内に位置する土湯温泉は、開湯から 1500 年余の歴史があり、温泉地全域が磐梯朝日国立公園に指定されている、歴史ある自然豊かな温泉地です。2011 年 3 月に発生した東日本大震災により、入込客数減などの影響を受けましたが、様々な復興施策を展開し、入込客数は回復傾向となっています。そして今、土湯温泉観光協会では、新型コロナウイルスの影響下で、密を避けて楽しめる取り組みやワーケーション向け施設の整備など、ウィズコロナ時代に対応しながら、土湯温泉の更なる活性化に向けた取り組みを始めています。一方、NTT 東日本では、地域に密着した ICT 企業として、観光地の様々な課題解決に積極的に取り組んでまいりました。

そこで今回、土湯温泉観光協会とNTT 東日本は、土湯温泉の持つ豊かな観光資源と、NTT 東日本のICT 分野及び観光分野における技術やノウハウを掛け合わせて相互に連携し、土湯温泉の更なる活性化を図ることを目的に、連携協定書を締結することとなりました。今後は、観光客のより安心・安全且つ快適な滞在・周遊を実現する最適なICT 環境の検討・整備と、それらを活用した回遊・購買促進施策、インバウンド対応施策の検討・実施をしてまいります。

2. 締結日

2021年4月26日(月)

3. 協定の具体的内容と両社の役割

- ・土湯温泉エリアのメインストリート・主要施設等において、より最適な観光・ワーケーション用「まち Wi-Fi」の検討・整備をすること。
- ・入込客数増・客単価向上に向けた課題解決策の検討・実施をすること。

土湯温泉観光協会	・観光・ワーケーション推進のための施策検討・設備整備
	・観光客のデータ分析及び分析結果の提供
NTT東日本	・事業実現に向けた ICT 環境の検討・整備
	・回遊・購買促進及びインバウンド対応についての施策提言

4. 取り組みのイメージ

別紙のとおり

<参考>

協定締結時の模様



(写真左より) NTT 東日本 福島支店 山貫 昭子支店長、土湯温泉観光協会 加藤 貴之会長

別紙

〈土湯温泉の更なる活性化に向けた取り組みのイメージ〉

「観光 × ICT」による土湯温泉の更なる活性化に向けた展望

宿泊・日帰り入込客数「50万人」の達成 + 客単価の向上 + 土湯温泉のブランドカ向上

